

日本教育方法学会

第26回大会プログラム

《大会日程》

第一日 (9月27日・木)	9:40	課 題 研 究 I				課 題 研 究 II			
	12:00	休 憩							
	13:00	自由研究 1	自由研究 2	自由研究 3	自由研究 4	自由研究 5	自由研究 6	自由研究 7	自由研究 8
	15:00	休 憩							
	15:20	課 題 研 究 III				課 題 研 究 IV			
	17:40	会 員 懇 親 会 (18:00より)							

第二日 (9月28日・金)	9:00	自由研究 9	自由研究 10	自由研究 11	自由研究 12	自由研究 13	自由研究 14	自由研究 15
	11:30							
	11:40	総 会 (11:40~12:30)						
	12:30							
	13:30	休 憩						
	17:00	シ ン ポ ジ ウ ム						

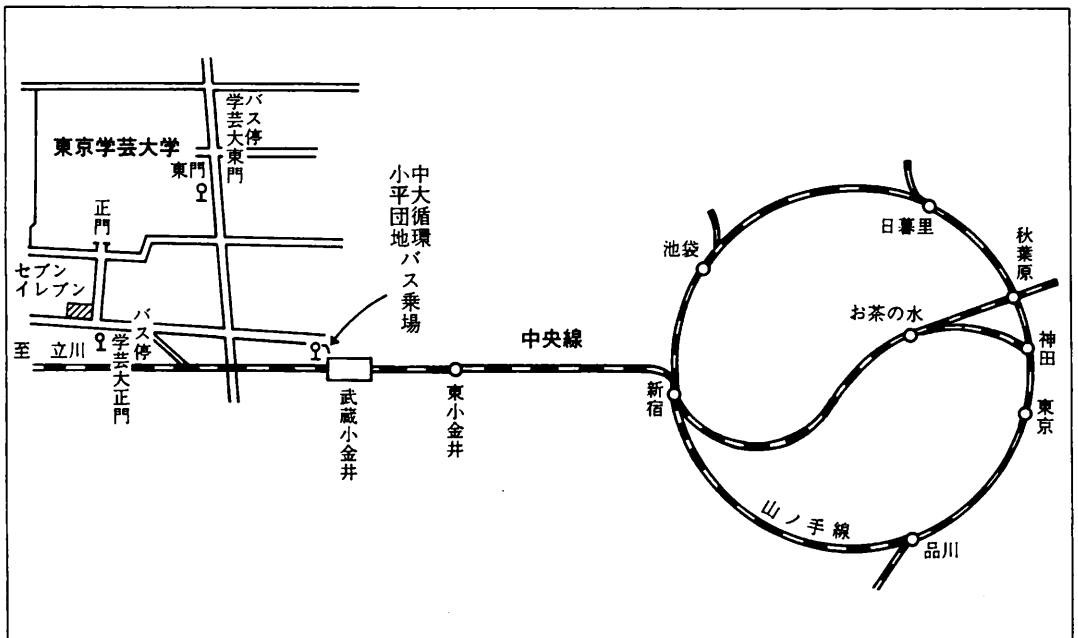
* 司会者は50音順、共同研究発表者の氏名は発表申し込み書に記入された順序によります。○印は口頭発表者です。

1990年 9月27日(木)・28日(金)
於 東 京 学 芸 大 学

大会参加要領

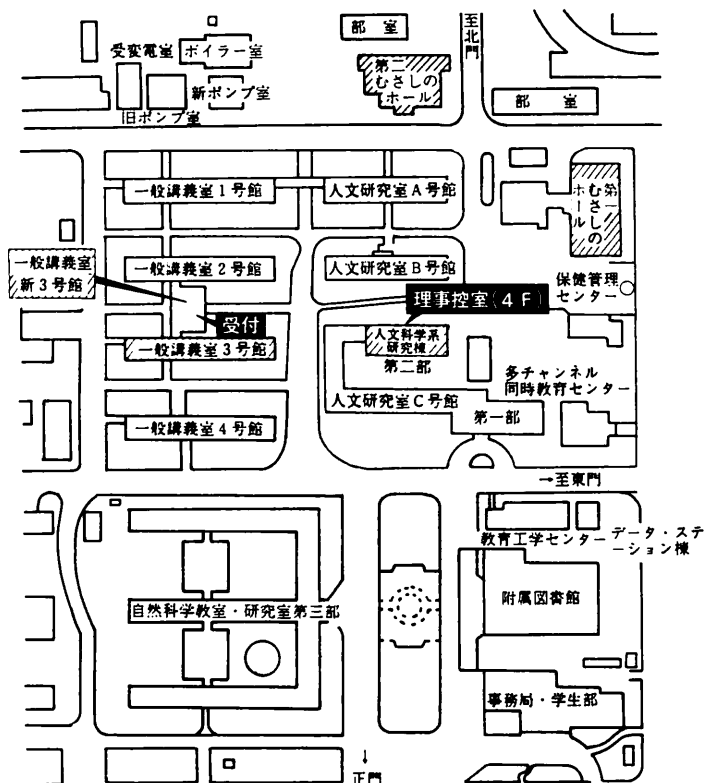
1. 受付 : 大会第1日(9月27日)は9:00、第2日(9月28日)は8:30から、会場入口で行います。
2. 学会費 : '90年度会費は、一般会員5,500円、学生会員4,000円です。
3. 参加費 : 一般会員3,000円、学生会員2,000円です。(発表要旨集録代含む)
当日会員(臨時会員)もこれに準じて受付けております。
4. 昼食について : 第1、第2むさしのホール(生協食堂)をご利用下さい。
なお、周辺の飲食店は若干しかございません。
5. 会場校連絡先 : 〒184 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学教育学教室
(TEL) 0423-25-2111
6. 交通 : JR 中央線武蔵小金井駅下車、北口バス停よりバス(京王バス)乗車。
小平団地行の場合、学芸大正門で下車、中大循環の場合、学芸大東門で下車。
いずれの場合も、バス乗車後会場まで徒歩の時間も含めて約15分間要します。

東京学芸大学案内図

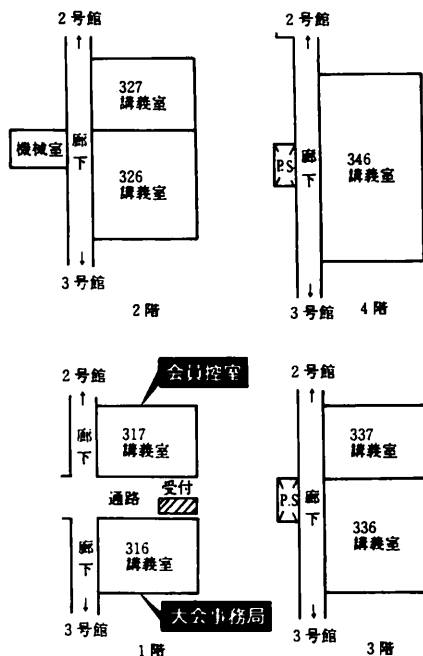


7. 会場配置図

東京学芸大学キャンパス図



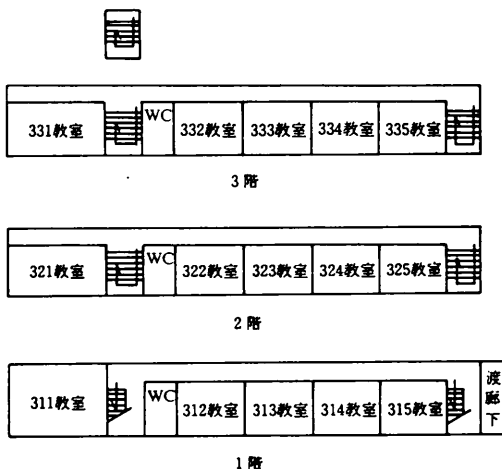
教室配置図
一般講義室新3号館



一般講義室3号館

※会員控室は、新3号館1階317講義室です。
お茶などを用意しております。

※理事控室は、通路をはさんだ人文科学系研究棟4階の教育学事務室です。



課題研究Ⅰ 低学年カリキュラムの内容・方法 および評価に関する教授学的研究

(346教室)

(9:40~12:00)

司会者

小川 博 久(東京学芸大学)

水越 敏 行(大阪大学)

提案者

小野 擴 男(奈良教育大学)

平野 朝 久(東京学芸大学)

中野 光(立教大学)

柴田 義 松(成蹊大学)

西ドイツにおける「事物科」の教授学的検討17

総合学習の発想に立つカリキュラム・授業・評価18

戦前における合科学習・総合教育の遺産から何を学ぶか19

低学年合科・総合学習の意義と課題20

〈趣 旨〉 わが国の低学年カリキュラムの歴史的研究、ならびに現代の諸外国における低学年カリキュラム開発の研究にもとづき、「生活科」に代表される低学年カリキュラムを多面的に検討する。

課題研究Ⅱ 教育技術とは何か

——その「知のあり方」と有効性を問う—— (331教室)

(9:40~12:00)

司会者

庄 司 他人男(福島大学)

吉 本 均(神戸女子大学)

提案者

斎 藤 勉(新潟大学)

藤 原 幸 男(琉球大学)

宮 坂 義 彦(三重大学)

理由づきの教育技術から教育理論がはじまる21

三木清の技術論と現代の教育技術22

追求形態の授業の場合23

〈趣 旨〉 教育技術の「知のあり方」に関する原理的な考察や、情報メディアの使用・開発、またコミュニケーションからのアプローチ、そして教材・教具の開発などの観点から、教育技術について総合的に研究する。

自由研究 1

(311教室)

司会者 川 合 章 (中 京 大 学)
山 田 昇 (奈良女子大学)

- 13:00 明治初期における教育技術の形成過程について24
——『小学教師必携』を中心として——
松 本 裕 司 (福岡教育大学大学院)
- 13:30 教師の力量形成に関する教育方法史的研究25
——教生の「実地授業批評会」を中心に——
豊 田 久 亀 (大阪市立大学)
- 14:00 私が昭和初期に体験した郷土教育26
——福岡県八女郡光友尋常高等小学校長服部廣記の郷土教育——
長 岡 文 雄 (佛 教 大 学)
- 14:30 生活科の教材・教具の開発と評価に関する研究27
村 川 雅 弘 (鳴門教育大学)

自由研究 2

(312教室)

司会者 岩 浅 農 也 (日赤看護大学)
清 水 毅四郎 (信 州 大 学)

- 13:00 社会科成立期の地域社会科教育計画の研究(5)28
——門司市(現在北九州市)錦町小学校プランの理論と実践の構造——
谷 本 美 彦 (宮 崎 大 学)
- 13:30 技術教育方法論の検討(2)29
沼 口 博 (大東文化大学)
- 14:00 戦後初期における「日常生活課程」の成立と展開に関する研究(その2)30
○ 山 口 満 (筑 波 大 学)
○ 安 井 一 郎 (筑 波 大 学)

自由研究 3

(313教室)

司会者 稲葉宏雄(京都大学)
岩垣 攝(千葉大学)

- 13:00 授業過程における「発達診断」と指導の統一に関する検討31
松田 己統美(広島大学研究生)
- 13:30 授業における「学習規律」に関する教授学的研究32
——集団の学習意志の組織化としての「学習規律」——
住野 好 久(広島大学大学院)
- 14:00 授業コミュニケーション構造と子どもの思考33
——築地久子氏、酒井典子氏の授業を比較して——
吉 永 潤(東京大学研究生)
- 14:30 協同的活動としての学習の概念について34
大津 悦 夫(立正大学)

自由研究 4

(326教室)

司会者 安彦忠彦(名古屋大学)
阿部 好 策(新潟大学)

- 13:00 授業を通じた学校改善の研究35
——子どもの追跡調査によるカリキュラム評価——
有本 昌 弘(大分大学実践センター)
- 13:30 授業場面における経営行動の分析36
浅田 匡(国立教育研究所)
- 14:00 教授コミュニケーションと教授過程37
○ 欽 喜 隆 司(大阪教育大学)
○ 木 下 百合子(大阪教育大学)
○ 手 取 義 宏(大阪市立大学大学院)
中野 真 志(大阪教育大学)
山住 勝 広(神戸大学大学院)
高瀬 祐 子(八尾市立曙川東小学校)

自由研究 5

(327教室)

司会者 五十嵐 二郎(広島大学)
碓 井 岑 夫(和歌山大学)

- 13:00 国語科の授業における児童の思考・情意過程の分析38
町 田 美 枝(鳴門教育大学大学院)
- 13:30 「生活綴方的教育方法」論の諸相39
神 郁 雄(関東学院中学・高等学校)
- 14:00 日本における外国語学習の社会史的問題40
——どうして日本人は英語を話すことを学ばないのか——
鎌田・ローレル(図書館情報大学)
- 14:30 教科内容と教科課程の関連について41
——分数乗除はなぜ分断されたのか——
大 田 邦 郎(千葉大学)

自由研究 6

(336教室)

司会者 白 井 嘉 一(福島大学)
外 山 英 昭(山口大学)

- 13:00 社会科カリキュラム構成に関する一考察42
——ラップ社会科における「問題」の意味に焦点をあてて——
江 間 史 明(東京大学大学院)
- 13:30 社会科の発問とその系列における社会科学の概念・探究方法の位置づけについて43
——アメリカ「新社会科」の批判的検討——
岸 本 実(京都大学研修員)
- 14:00 授業における「共感」と「科学」44
——安井俊夫社会科実践をめぐる論争を手がかりに——
三 村 和 則(広島大学研究生)
- 14:30 同心円の拡大論の批判と修正(3)45
——1980年代の歴史教育復興運動のなかで——
安 藤 輝 次(福井大学)

自由研究 7

(337教室)

司会者 市川 博 (横浜国立大学)
木下 繁 弥 (大阪教育大学)

- 13:00 国際理解教育のための中学校社会科地理的分野46
(東アジア) の単元開発と評価
野間 弓 子 (鳴門教育大学大学院)
- 13:30 消費者教育を取り入れた家庭科の指導法47
山本 紀久子 (筑波大学附属小学校)
- 14:00 学習指導要領の改訂の趣旨に即した勤労や奉仕にかかわる48
体験的な学習指導の在り方
千葉 浩 三 (宮城県南部高等学校)
- 14:30 西ドイツの事物教授における教材の検討49
——'70年代の科学的方向づけ (Wissenschaftsorientierung) の概念を中心に——
原田 信 之 (創価大学大学院)

自由研究 8

(346教室)

司会者 次山 信 男 (東京学芸大学)
中野 和 光 (福岡教育大学)

- 13:00 ティームティーチングにおける校内研修過程の分析(2)50
田中 博 之 (大阪大学)
- 13:30 講義形式の授業において学生の主体的参加を促す試み51
——大学教育実践研究(1)——
佐藤 年 明 (三重大学)
- 14:00 教育実習生の基礎的実践力の評価法52
○ 根 本 勝 (府中市立小柳小学校)
○ 加藤 好 男 (聖徳大学)

課題研究Ⅲ 教育課程編成における個別化・個性化の問題

(346教室)

(15:20~17:40)

司会者

磯田 一雄(成城大学)

豊田 久亀(大阪市立大学)

提案者

高浦 勝義(国立教育研究所)

「個別化」・「個性化」概念の特質と教育課程編成の工夫 54

天野 正輝(京都大学)

教育課程編成の力量をどうつけるか 55

水内 宏(千葉大学)

全教育活動の総和の所産としての個性 56

〈趣旨〉 新教育課程に個別化・個性化・弾力化などが問われている。しかしその理論的・実践的究明はまだ十分なされていない。そこで、その編成原理・現状の分析やそこから導かれる今後の在り方について検討を加える。

課題研究Ⅳ 学校における教科外指導の今日的課題

(331教室)

(15:20~17:40)

司会者

白井 慎(法政大学)

諸岡 康哉(金沢大学)

提案者

西村 誠(東洋大学)

教科外指導の今日的課題をめぐって 57

浅野 誠(中京大学)

現代における教科外教育の構図 58

江川 玟成(東京学芸大学)

望ましい人間関係の育成 59

——いじめ問題の克服にむけて——

〈趣旨〉 現在学校で行われている生徒指導、生活指導、また学校行事、クラブ、学級会の指導などを、学習指導要領が改訂された今日、新たな視点から検討を加える。

インフォメーション

会 員 懇 親 会

日 時 : 第1日(9月27日) 18:00から

会 場 : 第2むさしのホール2階

会 費 : 2,500円程度

会員相互の親睦をはかるため懇親会を開きます。
多数の会員の皆様のご参加をお願いします。

会 員 総 会

日 時 : 第2日(9月28日) 11:40~12:30

会 場 : 一般講義室新3号館4階(346教室)

昼食・休憩前ですが、ぜひとも多数ご参集下さい。

書籍販売について

学会事務局では、受付にて学会機関誌『教育方法』ならびに研究紀要『教育方法学研究』の最新刊及びバックナンバーの販売を会員割引価格等にて販売いたしております。この機会に是非お求め下さい。

また、本大会の『発表要旨集録』を別途希望される方には、一部1,000円にて頒布いたしております。

なお、『教育方法』最新刊第19号(『知育・徳育の構想と生活科の指導』)は、昨年度より『教育方法』が会員配布制とすることになりましたので、本年度会費を納入された方には随時お手元に郵送させていただきます。

自由研究 9

(312教室)

司会者 宮坂義彦(三重大学)
山下政俊(島根大学)

- 9:00 思考の発達と教授=学習理論61
山崎雄介(京都大学大学院)
- 9:30 授業における学習の共同的性格に関する研究62
中村美子(広島大学大学院)
- 10:00 「話し合い」の展開過程における子どもの発言の生成に関する研究63
田上哲(九州大学大学院)
- 10:30 学習集団の規模とその教育効果についての研究64
——20人、30人、40人学級の比較研究——
○加藤幸次(上智大学)
○高浦勝義(国立教育研究所)
浅沼茂(名古屋大学)
若狭蔵之助(鳥取大学)
松下晴彦(椋山女学園大学)
石坂和夫(国立教育研究所)

自由研究10

(313教室)

司会者 岸光城(山口大学)
斎藤勉(新潟大学)

- 9:00 読み取り過程における内面的活動の様相(その2)66
○藤村晴美(徳島市上八万中学校)
八田昭平(鳴門教育大学)
- 9:30 授業における追求の方向性と授業形態との関連(その2)67
——6年国語「石うすの歌」を例に——
○伊崎一夫(神戸大学教育学部附属小学校)
○北川金秀(神戸大学教育学部附属小学校)
- 10:30 「説明的文章」の指導方法の分析(4)69
○岡本明人(上武大学)
○岩本香(波多野ファミリースクール)

自由研究11

(326教室)

司会者 佐藤三郎 (流通科学大学)
谷川彰英 (筑波大学)

- 9:00 国際理解の視点を含んだ生活科のカリキュラム開発に関する研究70
神津厚子 (鳴門教育大学大学院)
- 9:30 総合学習「人間と音」のカリキュラムの実践構想71
——「生活と科学の結合」の視点から——
朴成泰 (東京学芸大学大学院)
- 10:00 生活科カリキュラムの比較分析72
吉田貞介 (金沢大学)
- 10:30 六甲山カリキュラム開発研究(1)73
——モジュール「災害と防災」の作成——
○土井捷三 (神戸大学)
今谷順重 (神戸大学)
山本幸夫 (神戸大学附属住吉小学校)
○疋田康弘 (神戸大学附属住吉小学校)
○小紫達矢 (神戸大学附属住吉小学校)

自由研究12

(327教室)

司会者 歓喜隆司 (大阪教育大学)
柴田義松 (成蹊大学)

- 9:00 長田新と教科教育75
伊藤博之 (京都大学大学院)
- 9:30 ルソーにおける感覚教育について76
角野幸代 (神戸女子大学大学院)
- 10:00 教授—学習過程の「教授学的サイクル」論と授業構成におけるその意義について..77
——ソビエト教授学の教授理論の分析(2)——
山住勝広 (神戸大学大学院)
- 10:30 自由ヴァルドルフ学校における「エポック方式」の特質78
吉田武男 (関西外国語大学)
- 11:00 W.クラフキの「範例的なもの」と「類型的なもの」による教材分析79
渡辺光雄 (筑波大学)

自由研究13

(336教室)

司会者 高 田 清 (福岡教育大学)
中 野 光 (立 教 大 学)

- 9:00 訓育過程の組織化における生活と教育の結合に関する研究80
藤 井 啓 之 (広島大学大学院)
- 9:30 アメリカ中等教育における Extra-Curricular Activities における81
「自治」概念の検討 (その2)
——規律訓練としての school city ——
齊 藤 信 (筑波大学大学院)
- 10:00 Gifted/Talented Child Program の研究82
——ヘッド・スタート計画の新たな試み——
橋 川 喜美代 (鳴門教育大学)
- 10:30 幼稚園教育における自尊心 (Self-Esteem) の形成と指導法に関する一考察83
尾 崎 春 人 (銀 嶺 幼 稚 園)
- 11:00 アンリ・ワロンの知能観の現代的意義84
——幼稚園・領域「環境」の教育方法論を考察するためのひとつの視点として——
西 岡 けいこ (筑波大学大学院)

自由研究14

(337教室)

司会者 斎 藤 浩 志 (琉 球 大 学)
藤 岡 信 勝 (東 京 大 学)

- 9:00 Art into Curriculum の諸相(2)85
——“Coming to Our Sences” 以後の動向
山 木 朝 彦 (大 分 大 学)
- 9:30 音楽の授業における概念形成と表現に関する研究86
——「カノン」の授業の教授学的分析を通して——
千 成 俊 夫 (広 島 大 学)
○ 高 須 一 (広島大学大学院)
○ 三 村 和 則 (広島大学研究生)
○ 中 西 匠 (広島大学研究生)
- 10:30 個の学習過程にみる授業諸要因の関連構造88
——小6図工「レリーフ」の事例分析をととして——
○ 日 比 裕 (名古屋大学)
○ 的 場 正 美 (名古屋大学)
○ 石 川 英 志 (岐 阜 大 学)
○ 石 田 薫 (名古屋大学大学院)
○ 平 山 勉 (名古屋大学大学院)
今 井 昌 彦 (東海女子短期大学)

9月28日(金) 午前

自由研究15

(346教室)

司会者 菅井勝雄(大阪大学)
中村亨(九州大学)

- 9:00 プロセススキル習得のための教材の開発と評価90
——中学校1年生物単元「動物の世界」の実践を通し——
下川恭徳(鳴門教育大学)
- 9:30 「視知力」教育論191
——視聴覚教育概念の問い直し——
小笠原喜康(日本大学)
- 10:00 小学生と教師の日本語入力(ワープロ)習熟過程モデルの比較検討92
大隅紀和(鳴門教育大学)
- 10:30 教科選択支援システムの開発93
——多属性効用分解再合成プログラム(MAUD)の手法を取り入れて——
○木原俊行(大阪大学大学院)
○森田英嗣(大阪大学大学院)
水越敏行(大阪大学)

9月28日(金) 午後

シンポジウム

(346教室)

(13:30~17:00)

いま、なぜ「不登校」なのか

——学校文化を問う——

司会者

杉山 明 男 (神戸大学名誉教授)

多田 俊 文 (東京学芸大学)

提案者

乾 彰 夫 (法政大学)	登校拒否・中退と学校の競争構造・文化 ……………	95
桂 正 孝 (大阪市立大学)	教育の人間化・人権化の視点から ……………	96
竹内 常 一 (国学院大学)	登校強迫と登校拒否からみえてくる学校 ……………	97
小田切 正 (北海道教育大学)	高校転編入の子どもとかかわって学校文化を考える ……	98

〈趣 旨〉 近年増加の傾向にある「不登校」「中途退学」現象は、現代社会における学校文化の問い直しを求めている。このような状況に対して、学校論、授業論、生活指導論、カウンセリング等の観点から検討を加える。

日本教育方法学会刊行書籍

教育方法 1.	教科内容・指導方法の現代化	1 9 6 6	(品切)
教育方法 2.	授業改造の基本問題	1 9 6 8	(品切)
教育方法 3.	授業の組織化と教師の指導性	1 9 6 9	(品切)
教育方法 4.	学力差と教授・学習過程	1 9 7 0	(品切)
教育方法 5.	教育方法学'70年代の課題	1 9 7 2	(品切)
教育方法 6.	授業研究の課題と方法	1 9 7 4	(品切)
教育方法 7.	現代学校教育論の再検討	1 9 7 5	(2,300円)
教育方法 8.	教育課程再編の原則	1 9 7 6	(品切)
教育方法 9.	現代訓育理論の探究	1 9 7 7	(2,100円)
教育方法10.	学力の構造と教育評価のあり方	1 9 7 9	(品切)
教育方法11.	現代授業理論の争点と教授学	1 9 8 0	(2,400円)
教育方法12.	学級教授論と総合学習の探究	1 9 8 2	(2,600円)
教育方法13.	いま授業で何が問われているか	1 9 8 4	(2,400円)
教育方法14.	子どもの人間的自立と授業実践	1 9 8 5	(2,800円)
教育方法15.	実践にとって教授学とは何か	1 9 8 6	(2,200円)
教育方法16.	個性の開発と教師の力量	1 9 8 7	(2,400円)
教育方法17.	教育方法を問い直す	1 9 8 8	(2,900円)
教育方法18.	新教育課程と人間的感性の育成	1 9 8 9	(2,000円)

最新刊・教育方法19『知育・徳育の構想と生活科の指導』

内 容

- I. 学校教育における知育と徳育
- II. 生活科の教授学的検討
- III. 情報化社会における教育の方法・技術と教材教具の開発
- IV. 新教育課程と教師教育の課題

◎ 大会当日、会場にて会員割引価格で販売いたします。
 この機会に多数の方々のご購入をお願いいたします。
 18号からは、「会員配布制」となりましたので、会費を
 納入された方には明治図書より直接お手元まで郵送いた
 します。

明治図書

〒170 東京都豊島区南大塚 2-39-5
 TEL (03) -946-2221 (代)